

大楠幼稚園の閉園に関する  
主な質問と回答

横須賀市教育委員会

令和4年9月

# 目次

## 1 閉園に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

- 問.1-1 なぜ閉園するのですか。
- 問.1-2 大楠幼稚園の閉園を事前に周知していましたか。
- 問.1-3 園児数が減少すると、どのような影響がありますか。
- 問.1-4 入園児数が増加した場合でも、閉園する方針は変わりませんか。

## 2 閉園時期に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

- 問.2-1 閉園時期の検討を再開した経緯を教えてください。
- 問.2-2 閉園時期を令和6年度末とした理由は何ですか。
- 問.2-3 閉園時期を延長することは考えていないのですか。

## 3 閉園の影響等に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

- 問.3-1 大楠幼稚園の閉園後、他の幼稚園や保育園で園児を受け入れてもらえるか不安です。
- 問.3-2 支援を要する園児の受け入れはどうなりますか。
- 問.3-3 大楠幼稚園を閉園した場合、大楠地区に幼稚園がなくなることに、どのように考えていますか。
- 問.3-4 大楠幼稚園がなくなることで、幼小連携がなくなり、地域とつながる教育を進められなくなるのではないのでしょうか。
- 問.3-5 閉園後、現在よりも遠くの幼稚園へ通うこととなりますが、災害でインフラが機能しなくなったときの対応はどのように考えていますか。
- 問.3-6 園児が在園途中で閉園を迎えることはありませんか。

## 4 跡地利用に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

- 問.4-1 跡地利用についてはどのように考えていますか。
- 問.4-2 大楠幼稚園に使われていた予算を、子どもたちのために使うことはできませんか。
- 問.4-3 大楠幼稚園の閉園後に、私立幼稚園や認定こども園を誘致する可能性はないのでしょうか。

## 5 その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

- 問.5-1 3年保育や延長保育などのサービスの拡充は考えなかったのですか。
- 問.5-2 対象を広げた説明会は開催しないのですか。
- 問.5-3 閉園予定にもかかわらず、なぜ大規模なトイレの改修工事を行ったのですか。
- 問.5-4 他の私立幼稚園などの入園でかかる入園金や準備金等についてはやむを得ないと考えているのでしょうか、それとも、何か手当を準備する考えはありますか。

## 1 閉園に関すること

### 問.1-1

なぜ閉園するのですか。

### 答.1-1

閉園の理由につきましては、主に3点あります。

#### (1) 市立幼稚園の役割を果たしたこと

##### ①私立幼稚園の補完的役割

少子化の進展と、私立幼稚園数及び定員の増加により、民間での受け入れが十分可能となったこと。

##### ②幼児教育の研究活動

横須賀市私立幼稚園協会と連携を深め、研究委託を行い、研究成果を発信していくことで、本市の幼児教育の充実を図ることができること。

##### ③支援を要する園児の受け入れ

子ども・子育て支援新制度により、入園希望者の受け入れについての応諾義務が規定されていることや障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）の施行により、私立幼稚園においても支援を要する園児の受け入れを行っていただいていること。

#### (2) 最近の入園希望者が減少傾向にあること

平成21年度以降、大楠小学校区の未就学児が増加もしくは横ばい傾向であるものの、大楠幼稚園の入園希望者は、定員割れの状態が続いていること（令和4年度の入園者数は9名）。

#### (3) 幼児教育の無償化により、私立幼稚園の保護者負担額が減少したこと

令和元年10月から幼稚園の利用料が無償化され、私立幼稚園の保護者負担額が減少したことにより、翌年度以降の入園希望者がさらに減少したこと。

### 問.1-2

入園児数が増加した場合でも、閉園する方針は変わりませんか。

### 答.1-2

閉園については、平成27年8月の教育委員会定例会にて決定しています。

答.1-1の理由から、市立幼稚園の役割は果たしたと考えていることから、今後、入園児数が増加した場合であっても、閉園する方針は変わりません。

## 2 閉園時期に関すること

問.2-1

閉園時期の検討を再開した経緯を教えてください。

答.2-1

今年度の入園者数が一桁（9名）となったことを受け、閉園時期の検討を再開しました。

問.2-2

閉園時期を令和6年度末とした理由は何ですか。

答.2-2

今後も園児数の減少が見込まれ、大楠幼稚園の幼児教育の水準を維持していくことが困難であるためです。

問.2-3

閉園時期を延長することは考えていないのですか。

答.2-3

大楠幼稚園の園児数は減少しており、この傾向は来年度以降も続くと予想されます。園児にとって集団での学びが非常に重要であると考えていますので、閉園時期をこれ以上延長することは考えていません。

### 3 閉園の影響等に関すること

問.3-1

大楠幼稚園の閉園後、他の幼稚園等で子どもを受け入れてもらえるか不安です。

答.3-1

西行政センター区域の私立幼稚園等の定員に空きがあることを確認しています。また、各私立幼稚園、保育所、認定こども園に対し、園児の受け入れの協力を依頼しています。

問.3-2

支援を要する園児の受け入れはどうなるのでしょうか。

答.3-2

各私立幼稚園、保育所、認定こども園に対し、支援を要する園児の受け入れの協力を依頼しています。

問.3-3

大楠幼稚園を閉園した場合、大楠地区に幼稚園がなくなることについて、どのように考えていますか。

答.3-3

大楠地区に幼稚園はなくなりますが、西行政センター区域の私立幼稚園の定員に空きがあることを確認しています。また、本市において人口減少や少子化が進んでいる現状で、教育施設を含め、公共施設のある地域の範囲を広くとらえていただければと考えています。

**問.3-4**

大楠幼稚園がなくなること、幼小連携がなくなり、地域とつながる教育を進められなくなるのではないのでしょうか。

**答.3-4**

幼小連携は、幼稚園等から小学校へスムーズに上がるために行っているものであり、全市的に行っています。

具体的な取り組みとしては、小学校の先生が幼稚園を訪問したり、これから入学してくる園児について、どのような教育が行われてきて、今後どのような教育をしていくかについて情報交換したりしています。

小学校と各幼稚園等が同一敷地になくても、幼小連携の教育はできますので、その点は問題なく対応できると考えています。

**問.3-5**

閉園後、現在よりも遠くの幼稚園へ通うこととなりますが、災害でインフラが機能しなくなったときの対応はどのように考えていますか。

**答.3-5**

民間幼稚園にて、防災の対応などのマニュアルに基づいて対応されるものと考えています。小学校における災害対応と同様に、園児を保護者に引き渡しができるまで責任をもって預かっていただけるものと考えます。

**問.3-6**

園児が在園途中で閉園を迎えることはありませんか。

**答.3-6**

入園した園児については、大楠幼稚園及び教育委員会が責任をもって、卒園するまで教育活動を保障します。

#### 4 跡地利用に関すること

問.4-1

跡地利用についてはどのように考えていますか。

答.4-1

地域の皆さまからご意見を伺いながら、検討していきたいと考えています。

なお、跡地利用について、現在、関係者連絡会や保護者説明会などで、放課後児童クラブ、放課後子ども教室、高齢者や大人も活用できる地域交流の場など、さまざまなお意見を頂いているところです。

問.4-2

大楠幼稚園で使われていた予算を、子どもたちのために使うことはできませんか。

答.4-2

大楠幼稚園で使われていた予算を、別の特定のものに使う仕組みにはなっていませんが、市全体の歳入や歳出のバランスを考慮しつつ、各分野の事業について、費用対効果を意識し、効率的に配分していきます。

問.4-3

大楠幼稚園の閉園後に、私立幼稚園や認定こども園を誘致する可能性はないのでしょうか。

答.4-3

本市が策定した「第2期 横須賀子ども未来プラン」では、「少子化・就業率の増加などによる保育ニーズの増加に対応するため、利用定員の適正に勤めながら、認定こども園への移行や既存施設の定員拡充を進める」としており、新たな施設の設置を進めるのではなく、既存施設の定員を増やすことで、待機児童の問題解消等に対応していく方針です。

また、近年は、保護者の就業率の上昇に伴い、保育利用児童数が増加している一方で、教育利用児童数は減少傾向が続いており、今後もその傾向は継続するものと思われます。

さらに、本市西地区における幼稚園利用者数は、現時点でも認可定員を大幅に下回っている現状で、新たに民間幼稚園を開設したとしても、将来的に利用者を確保していくことは困難であると考えています。

したがいまして、私立幼稚園や認定こども園の誘致は考えていません。



## 5 その他

### 問.5-1

3年保育や延長保育などのサービスの拡充は考えなかったのですか。

### 答.5-1

昭和 54 年当時、園児の数が増加し、民間幼稚園だけでは対応しきれなくなっている状況があり、その受け皿として大楠幼稚園が設置された経緯があります。

あくまで民間幼稚園の補完的役割のため、開園当時から、民間幼稚園の水準を超えない範囲の2年保育で運営してきました。

現在、少子化が進み、市全体・西地域で見ても、幼稚園の定員に空きがある状況のため、3年保育や延長保育等、公立幼稚園におけるサービスの拡充を行うことは考えていません。

### 問.5-2

対象を広げた説明会は開催しないのですか。

### 答.5-2

本市教育委員会では、保護者代表・地元町内会長・大楠幼稚園長・大楠小学校長で構成する大楠幼稚園関係者連絡会を中心に意見交換を行い、さらには未就園児や大楠幼稚園保護者を対象とした説明会を開催し、皆さまからご意見を伺っています。

その他、町内回覧を通じて、より広く、より多くの大楠地域の皆さまへ周知を行い、意見募集をしていますので、対象を広げた説明会の開催は考えていません。

問.5-3

閉園予定にもかかわらず、なぜ大規模なトイレの改修工事を行ったのですか。

答.5-3

トイレの老朽化が進み、悪臭もひどく、トイレに入るのを嫌がる園児がおり、幼稚園側からトイレ改修の要望を頂いていました。

これを受け、令和元年度に予算措置を行い、令和2年度に改修工事を行いました。その時点では、大楠幼稚園の閉園は決まっていたましたが、閉園時期は決まっていませんでした。今いる園児のための修繕は行う方針でしたので、その時点では必要な工事と判断し、改修工事を行いました。

問.5-4

他の私立幼稚園などの入園でかかる入園金や準備金等についてはやむを得ないと考えているのでしょうか。それとも、何か手当を準備する考えはありますか。

答.5-4

令和元年 10 月から授業料が無償化されたことで、これまでよりも負担が軽減されているため、現時点で手当等の導入は考えていません。ご理解いただければと思います。